

【令和3年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
1	情報防災係	防災資機材倉庫整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各避難所における感染防止対策として整備したパーティションや消毒用品などの資機材を適切な場所で保管し、有事の際に迅速に対応できるよう、各避難所に防災資機材倉庫を整備する。 ・ガルバリウム鋼板製、床面積13㎡程度 5か所	11,550,000	R3.10	R4.3	防災資機材倉庫購入 ・ガルバリウム鋼板製、床面積13㎡程度 1棟 2,310,000円×5か所	避難所等にも感染症対策を講じる必要があるため、防災用備蓄品は大量に購入することとなり、備蓄場所の増設が急務となった。 そのため、防災資機材倉庫を購入することにより、備蓄場所を確保することができた。	1
2	資産税係	土地台帳・家屋評価システム導入事業	浸水地区にある庁舎内で管理している家屋台帳、土地台帳及び家屋評価調書は、紙ベースでの保管となっており、浸水した際の台帳管理や持ち出しが、混乱時には対応が不可であり、かつ、濡れている台帳を使用することで破損等のリスクが想定される。土地台帳システムを導入し、土地台帳をデータ化することによりそれらのリスクを低減できるとともに、被災後の各種証明書の発行事務等がデジタル化され、新たな災害対応スタイルが構築される（行政IT化、防災IT化）。 家屋関係については、家屋評価調書作成の家屋評価システムを先行導入したのち、家屋台帳のデータ化を進め、土地台帳と連携したシステムの充実を図ることによりデジタル化を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、職員間の不要な接触の機会を減らすことに寄与する。	6,361,108	R3.6	R4.3	①土地台帳・家屋評価システム導入 土地台帳システム導入一式、家屋評価システム導入一式、ハードウェア 5,150,000円×税=5,665,000円 ②土地台帳・家屋評価し擦れお導入に係る土地台帳データ変換業務 105,471枚×@6.0円×税=696,108円 ①+②=6,361,108円	土地台帳をデータ化することにより、台帳を閲覧するために職員間の接触が軽減されたとともに、行政IT化が図られた。 家屋評価調書作成の家屋評価システムを先行導入したことにより、家屋情報がデータ化され、職員間の不要な接触の機会を減らすことができたとともに、行政IT化が図られた。	3
3	福祉係	就労支援事業所車両購入費補助事業	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の減少により、商品の販売機会が減少している障がい福祉サービス事業所の新たな就労資源となるほか、コロナ禍で外出が困難になり、外食や買い物の機会が減少している高齢者等の食事の提供体制を強化する。	1,668,000	R3.5	R3.9	給食サービスの配達を担う障がい福祉サービス事業所に、配達用車両の1台の購入費を補助した。	コロナ禍で外出自粛を余儀なくされた高齢者等の食事の確保に繋がった。又、障がい福祉サービス事業所の新たな就労資源となり、利用者の工賃の確保につながった。	4
4	福祉係	障がい福祉サービス事業所支援事業	コロナ禍において就労支援体制の強化を図る就労継続支援事業所を支援することで、障がい者の就労機会の確保と社会的自立を促進する。	1,000,000	R3.5	R3.6	町内の就労継続支援事業所に対し、事業所あたり500千円を2事業所に給付した。	コロナ後を見据えた新たな商品開発のための機械の購入や、設備投資に活用された。	5
5	農政係	地元特産品給食提供事業	新型コロナウイルス感染症の影響による市場の滞留や観光施設、飲食店の休業等により、畜産物や水産物の流通が停滞している。地元特産品の良さを確認し、事業者の経営維持と将来につなげるために、町で特産品を購入し、学校給食で提供する。また、この機会に地元の特産品の良さを紹介し、地域産業を理解する。	1,499,913	R3.5	R4.3	地元特産品の牛肉、黒豚肉、羊肉、鹿肉、ドナルドサーモン、牛乳を利用した延べ12品目の学校給食メニューを提供することで、地元の特産品の良さを紹介し、小中学生が地域産業を理解することができた。	コロナの影響により減収となった町内事業者の経営維持と将来につなげる支援をすることができた。	6
6	商工観光係	新型コロナウイルス飲食テイクアウトメニュー宅配事業	外出自粛要請の結果、町内消費、特に飲食業の消費低迷がみられることから、町では、町内のタクシー事業者及び飲食店のビジネスモデル構築のため、試験的に池田町観光協会と協力して、町内タクシー事業者を活用してのデリバリーサービスを令和2年6月から実施しているが、好評でもあり消費喚起効果も見られることから、将来の自動化に向け引き続き事業を実施する。	1,968,996	R3.5	R4.3	○配達事業費 1,261,500円 ○諸経費 707,496円 ○計 1,968,996円	外食機会が減少する中、職域でのランチタイムでの利用や、農村地区での利用など需要の掘り起こしとともに、テイクアウトの新しいサービスの一環として効果を上げた。	7
7	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策消費啓発事業	新型コロナウイルス感染症対策として、町内消費、特に飲食業の消費低迷がみられることから、池田町商工会と協力し、事前に登録した店で利用できる1世帯あたり5,000円相当のクーポン券を発行・送付し、町内の消費喚起を促す。	17,976,526	R3.5	R3.12	○クーポン換金額 15,742,000円 ○事務費 1,152,423円 ○郵送料 1,082,103円 ○計 17,976,526円	消費動向の落ち込みがみられた町内経済に換金額以上の消費喚起効果となり、多大な経済効果となった	8
8	商工観光係	池田町経済対策特別支援金（北海道特別支援金対策）交付事業	国及び北海道が企業向け施策として実施している特別支援金事業の支給対象者のうち、北海道の支給対象者（国の方は限度額が高く、北海道との併用受給不可となっている）は国に比べ上限額が低い。支給対象者は単月で50%以上の売り上げ減少月のある者であり、受給対象になる時点で経営に深刻なダメージを受けていることになる。池田町では飲食関係の緊急支援金給付事業を行っているが、新型コロナウイルスの影響も長期間にわたっていることから、対象業種を広範囲にし、実損額が大きい事業者向けの経済対策として町が同額を上乗せして経営支援を行う。	1,300,000	R3.5	R4.1	○法人 2件 400,000円 ○個人 9件 900,000円 ○計 1,300,000円	コロナの影響が長期化していく中で、経営状況が悪化している事業者に対しての経済的バックアップを実施することで、経営状況の底支えの一助となった。	9

【令和3年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要（効果・目的）	実績額（円）	事業始期	事業終期	実施状況（実績）	効果検証	実施計画No.
9	商工観光係	町内事業者販売促進事業	新型コロナウイルスの影響で池田町の観光来訪客が伸び悩み、またGOTO事業の停滞により、来訪者の消費動向も冷え込んでいることから、ワイン城に来訪した方の消費喚起を図り、またワイン城リニューアル1周年に合わせて実施することで、観光客の往来が増加していくことが予想され、リニューアルプロモーションの一環と町内商工事業者への消費拡大等の波及を期待する取組を実施する。	6,798,495	R3.5	R4.2	<ul style="list-style-type: none"> ○クーポン換金額 6,078,500円 ○事務費 719,995円 ○計 6,798,495円 	マイクロツーリズムがトレンドになっていた中、ワイン城での購買をさらに町内消費喚起へと結びつける施策となった。	10
10	学校教育係	新型コロナウイルス感染症対応町内小中学校空調機器等整備事業	新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクを付けて授業を行っている児童生徒の3密とウイルス対策、熱中症や冬期間換気の寒さ対策として、換気機能を備えた空調設備の整備を進め、感染症予防に寄与する。また、空調設備増設に必要な学校施設の電気設備改修を行い、安定的な電源確保を図る	29,040,000	R3.7	R4.2	<ul style="list-style-type: none"> 合計 29,040,000円 ○空調機器整備経費 <ul style="list-style-type: none"> ・池田小学校 換気機能付冷暖房エアコン 5台（多目的教室3台、音楽室2台）5,720,000円 ・池田中学校 換気機能付冷暖房エアコン 4台（普通教室3台、特別支援教室1台）4,510,000円 ○電気設備改修経費 <ul style="list-style-type: none"> ・池田小学校 電気設備改修工事実施設計 1,210,000円 ・池田小学校 電気設備改修工事 15,323,000円 ・池田中学校 電気設備改修工事実施設計 1,056,000円 ・池田中学校 電気設備改修工事 1,221,000円 	・各教室等にエアコンを設置し、マスク着用により発症リスクが高まっている熱中症対策として効果があった。	11
11	学校教育係	新型コロナウイルス感染症対応町内小中学校消耗品購入事業	新型コロナウイルス感染症予防のため、学校内で使用する消耗品を購入し、感染症予防に寄与する。	245,856	R3.5	R3.11	<ul style="list-style-type: none"> 合計 245,856円 池小（水泳用マスク、パーテーション、他）=89,001円 高小（パーテーション、石鹸ディスペンサー、他）=45,502円 利小（パーテーション、アルコールディスペンサー、他）=97,009円 池中（石鹸ディスペンサー、他）=14,344円 	衛生消耗品の他、自動手指消毒器を購入し、感染症対策を実施することで、児童生徒が安心して学ぶことができる環境整備が図られた。	12
12	社会教育係	町立図書館図書消毒機購入事業	町立図書館で町民に図書の貸し出しを行っているが、新型コロナウイルス対策として本等の消毒作業を行わなければならないため、図書消毒機による消毒を行うことで町民が図書を借りる際の安心感を与え、機械による作業にすることで消毒作業の効率を高める。	1,634,600	R3.5	R3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・図書消毒機 1台 1,086,800円 ・UV除菌機 1台 547,800円 合計 1,634,600円 	複数の来場者が図書館で利用される設備をUV除菌機により消毒することにより、新型コロナウイルスに感染するリスクを軽減した。図書館で貸し出ししている本について、返却時に除菌機で滅菌することにより、次の本貸出時の感染リスクを減らすことができた。	13
13	消防署	新型コロナウイルス感染症対策物品購入事業【消防】	救急活動による感染防御の徹底と装備品等の消毒作業の効率を向上させるとともに、事務室や仮眠室などの庁舎内環境の感染予防対策の充実強化を図る。また、複数職員で共同使用している物品を介しての水平感染を防止し、職員間の感染拡大による消火力低下のリスクを低減する。	4,464,504	R3.5	R4.2	<ul style="list-style-type: none"> 救急活動における救急隊員の感染防御対策、救急資機材や救急車内の消毒作業の効率向上、庁舎内環境の衛生対策の充実強化を図るための資機材を導入するとともに、共同使用の資器材からの消防職員間における感染拡大を防止するため、資器材の個別貸与を推進した。 ・リユース感染防止衣 21着 ・アイソレーションフード 3枚 ・加温器 3台 ・空気呼吸器本体 4基 ・空気呼吸器面体 16個 ・救急用保安帽 19個 ・仮眠用敷布団 13枚 	感染症の拡大により救急活動時の感染リスクが高まっている中で、防御性能が高い感染防止衣や救急車内における飛沫防止のための救急資機材の導入、そして庁舎内の衛生環境の充実強化、消防職員が使用する資器材の個別貸与を速やかに整備することができたことで、消防職員の感染による消火力低下のリスクを最小限に抑制し、コロナ禍においても安定的な消防体制の継続維持に大きく寄与した。	14

【令和3年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要(効果・目的)	実績額(円)	事業始期	事業終期	実施状況(実績)	効果検証	実施計画No.
14	福祉係	多世代交流施設改修事業	新型コロナウイルス感染症予防の観点から様々な活動が制約されている状況下で、子どもの見守り機能の維持や高齢者等の社会的孤立の抑止のための居場所づくりが重要となることから、新しいつながりの創出に向け、感染予防対策に配慮した多世代交流施設を整備する。また、整備に当たっては、地元産の木材を活用し地産地消の施設とすることで、地元産材の良さを再確認するとともに、地元業者の支援にもつなげる。	31,117,772	R3.7	R4.3	地域住民の新たな交流拠点として、多世代交流施設の整備を実施した。コロナ禍でも安心して利用できるよう、換気機能や消毒器の設置、エアコンを整備した。又、誰もが快適に施設を利用できるようにユニバーサルデザインに配慮した施設としている。 【交付金内訳】 建物改修工事…28,780,400円(屋上防水工事、多目的トイレ改修、電気設備工事等) 消耗品費…214,262円(蛍光灯、掃除用具、表示プレート、消毒液、台所用用品、傘立て、ハンガーラック) 看板製作手数料…162,800円(屋外看板、施設内看板) 備品購入費…1,960,310円(木製テーブル、会議用テーブル、多目的シート、ロールスクリーン、ペーパーベッド)	子どもの見守り機能の維持や高齢者等の社会的孤立の抑止のための居場所づくりができた。コロナ禍においても、子どもから高齢者まで幅広い世代の交流の場として活用されている。	15
15	商工観光係	新型コロナウイルス感染症対策飲食等緊急支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症拡大による、国の緊急事態宣言や北海道の集中対策期間における外食の自粛ムードの高まりを受け、大きな影響を受けている町内事業者(飲食店・宿泊事業者及び飲食料取扱事業者 ※基準日に事業活動を実施し今後も活動することを確認できる個人事業主・法人)を支援する。	7,100,000	R3.9	R4.1	○料飲食店 25件 5,000,000円 ○宿泊事業者等 21件 2,100,000円 ○計 46件 7,100,000円	コロナの影響が長期化していく中で、夏の需要期に観光客の減少等が著しかった飲食・宿泊及び関連業界に対して支援を実施することで、経営支援のバックアップ効果が図られた。	16
16	商工観光係	新型コロナウイルス感染防止対策支援補助事業	町内事業者がこれからの事業活動上(接客行為等)が必要となる、感染防止対策のための消耗品等の整備に対して補助する。町内事業者の感染防止対策を行政としてバックアップすることで、町内の感染防止対策の浸透並びに来訪客の満足度向上を図る。	1,627,838	R3.9	R4.3	○申請件数 56件 1,627,838円	北海道が実施した第3者認証制度の認証時期とも重なり、申請～認証をスムーズにサポートすることができ、池田町内の商業施設の感染防止対策が図られた	17
17	学校教育係	池田町立小学校修学旅行取消料助成事業	当初令和3年9月に予定していた町内3小学校の修学旅行について、道内における緊急事態宣言期間の延長により実施を延期することとなったが、児童分のキャンセル料が生じたため、旅行事業者への支援として町がこれを負担する。	358,962	R3.12	R3.12	【A】池田小学校：児童分旅行代金27,302円×キャンセル料率30%=8,190円×28名=229,320円 【B】高島小学校：児童分旅行代金34,282円×キャンセル料率20%=6,856円×6名=41,136円 【C】利別小学校：児童分旅行代金32,783円×キャンセル料率30%=9,834円×9名=88,506円 【A】+【B】+【C】=358,962円	道内における緊急事態宣言期間延長により延期となった修学旅行の児童分キャンセル料について、町が負担することにより旅行事業者への直接支援ができたことともに、保護者負担をなくし、教育機会の平等化を図ることができた。	18
18	高齢者支援係	新型コロナウイルス感染症クラスター発生介護事業所支援事業	新型コロナウイルス感染症のクラスター感染が発生した介護サービス事業所の運営を支援することにより、介護サービスが供給される体制を維持し、介護サービス提供体制の安定化を図る。	9,967,355	R3.5	R4.3	感染対策用物品等掛かり増し(道補助差し引き額) 2施設 1,355円 感染症対応職員人件費掛かり増し(職員76名分) 5施設 5,166,000円 運営費補助 6施設 800,000円×6施設 4,800,000円	クラスター感染の発生により、介護サービス事業の運営に影響のあった介護サービス事業所の運営の安定化が図られた。	19
19	畜産係	牛乳消費促進緊急対策事業	生乳については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食業向けへの業務用乳製品の消費量減少や、学校の休校に伴う給食消費量の減少が続き、乳製品メーカーによる在庫が過剰となっている。年末年始については、各機関・自治体の尽力により、生乳廃棄を免れたが、1年の中で生乳生産量がピークとなる4～6月頃には再度生乳廃棄のおそれがあり、依然として予断は許さない状態である。 全道一丸となり、牛乳・乳製品の消費を促進していく必要があることから、子育て世帯に対して牛乳券の配布を行う。	1,403,580	R4.2	R4.3	【牛乳贈答券の購入・配布】 @200円×1人10枚×675人=1,350,000円 を購入し、子育て世帯379戸に1人の子ども当り10枚を配布し、牛乳の消費を促した。 【簡易書留による郵送】 @404円×93通=37,572円 @414円×32通=13,248円 @460円×6通=2,760円 小計53,580円 合計1,403,580円を実績額として計上	コロナの影響により、消費量が低下していた牛乳の消費促進を行った。他自治体・団体等による団結により、生乳廃棄に至ることなく、酪農家の運営維持に資した。また、子育て世帯への牛乳消費を促し、新型コロナウイルスに負けない強い身体づくりを推進した。町の活動に賛同した地域の酪農生産者団体からも、牛乳贈答券の寄付を頂き、地域一丸となった牛乳消費促進を遂行した。	20

【令和3年度実施計画】池田町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No.	担当係	事業名	事業概要 (効果・目的)	実績額 (円)	事業始期	事業終期	実施状況 (実績)	効果検証	実施計画 No.
20	商工観光係・財政係	新型コロナウイルス感染症対策町融資利子・保証料補給事業【基金化事業】	令和2年度に新型コロナウイルス感染症により資金繰りの悪化した町内事業者の安定的な運転資金確保のため、町融資制度に災害件を設定し、利子・保証料の全額補給を実施している（令和2年度に基金化）。今回は、令和3年度に実行した新規融資及び融資書き換えに係る令和4年～7年分までの後年度負担分を、令和2年度に基金化したものに積み増しするもの。	4,850,000	R3.4	R8.3	<p>特定目定基金「池田町中小企業融資利子・保証料補給基金」に、下記の積算根拠に基づき4,850,000円を積み立てた。</p> <p>保証料 15件 2,800,000円 【A】</p> <p>※件数については借り換え含む。実件数13件</p> <p>利子 23件 4,340,945円 【B】</p> <p>【A】 + 【B】 = 7,140,945円 【C】</p> <p>現基金残高 (R2積立額) 4,880,000円 【D】</p> <p>R3取崩予定額 2,588,277円 【E】</p> <p>今回基金積み増し予定額 【C】 + 【E】 - 【D】 = 4,849,222円≒4,850,000円</p>	<p>コロナの影響により減収となった町内事業者の資金調達の円滑化と返済財源の負担軽減を図り、経営の安定化と事業の継続を支援するための環境整備が整った。</p>	21